

ち づ 智 頭 議会 だより

鳥取県智頭町議会
第150号
発行：令和2年4月20日



智頭の想い出シリーズ39

「石谷家住宅」特別公開に長蛇の列

平成11年11月に、5日間限定で特別公開され10,500人の来場者があった。上記の写真は、その時の様子。

平成12年に、町に寄贈、平成13年から一般公開されて、今年で20年、初年度は、約54,000人の入館者があった。

☆ 令和2年度 当初予算を可決 …P2

☆ 消防団員の報酬を増額する条例の改正 …P5

☆ 6人の議員が登壇し一般質問 …P7~9

☆ お知らせ ※新型コロナウイルス感染症に関する議会の対応 …P14

☆ 町民の声 (山郷地区) …P16

骨格的な当初予算を可決

3月定例会(3月6日から18日)を開き、令和2年度当初予算や補正予算、条例など、45議案を審議しました。今年6月に町長選挙が行われるため、基本計画に基づく骨格的な予算ではありませんが、原案どおり可決しました。主な内容を掲載します。

	前年度比	↓ 令和2年度	当初予算総額
一般会計	6億7000万円減額↓	61億2000万円	
特別会計	1億4551万円減額↓	47億7430万円	

間伐支援は必要



智頭材出荷促進事業 4,680万円

石谷原木市場へ間伐材を出荷した際、1立米あたり1,200円を助成する

改善点を問う



ハザードマップ作成料 646万円

新たな浸水想定区域を反映し、日常的に見てもらえるマップに更新する

経営見通しを問う

議員
宿泊ニーズはあるのか

那岐地区にも民泊家庭がある。民泊で賄いきれないのか。宿泊ニーズの把握や経営計画はあるのか。どのような規模の改築を計画しているのか。今回計上した設計費以外に、改築費はいくらを想定しているか。

執行部
宿泊希望者はある

隣接する飲食店でゆっくり飲酒し、近くで宿泊したいという観光者からの要望がある。改築や経営計画は、那岐地区の住民がワークショップを重ね作りあげている。改築費は約1億円程度かかる予定。



旧那岐小学校整備事業(設計など) 2,433万円

旧那岐小学校の一部を宿泊可能な複合施設に改修する設計経費

(社会福祉協議会)

社協バス廃止を懸念



社協バス廃止に伴う香託料 520万円(減)

社会福祉協議会運営委員会が、今年3月に更新時期を迎える社協バスについて協議した結果、廃止という方針が示された

議員
社協バス廃止に伴う影響は

社協バスは福祉課だけでなく、教育課などでも利用し、年間を通じ多くの住民の交通手段としての一翼を担っている。廃止に伴う影響をどのように補うのか。また、経費面での試算も問う。

執行部
民間のバス借上料を措置する

町が所有するマイクロバスや、すぎっこバスも活用し、住民に不便をかけないよう努力すると共に、必要なバス借上料を措置する。

民間バスの借上料

500万円以内を想定



今までの社協バスの経費

修繕料・人件費を含め、年間500～800万円経費がかかっていた。

石谷家住宅と観光協会 指定管理料の見直し迫る

議員
指定管理料に頼らず「稼ぐ努力」を
石谷家住宅の入館者数は減少傾向にある。健全経営を行うために、不採算部門を見直すなど合理化を図るべきではないか。
また、観光協会も同様で、様々な業務や体制を見直すと同時に、旅行業だけではなく、視察の受け入れを行うなど、稼ぐ努力をすることが必要ではないか。そして、2つの組織を1本化するのも一考ではないか。

執行部
様々な創意工夫を行っている
近年天災や風評被害により、観光客が減少している。イベント等を工夫して、稼げる組織にするよう努力する。

石谷邸保存活用整備事業 2,279万円

石谷家住宅の運営費



智頭町観光協会運営費補助金 2,615万円

観光協会の運営費

事業未執行多発に



例年3月の補正予算は、年度末の事業内容の増減に伴う、微細な予算の調整を行うが、この度は事業未執行が目立ち問い質した。

一般会計と特別会計(9会計)併せて**1億5237万円**の減額補正となった。



まちづくり支援事業 1,800万円 減額

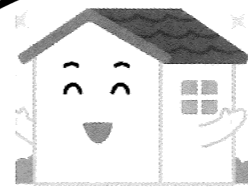
伝統文化の継承・歴史的施設の保全・活用、観光振興や6次産業化等を目的とした施設整備。また、地域振興イベントなどの経費を助成する

議員・有効に予算執行すべき2000万円の当初予算をつけているが、1800万円減額するとはどういうことか。

執行部・利用する団体がなかった

まちづくり支援事業

対象者：コミュニティ団体等
上限：ハード事業 1000万円
ソフト事業 300万円
補助率：8/10以内



智頭町住宅改修事業 (リフォーム)補助金 300万円 減額

町内に住んでいる住宅所有者の家を改修する際の補助
上限：15万円
補助率：15/100

議員・20軒分の予算未執行の要因は住宅改修事業は、定住策として有益な事業である。また、町内の経済効果も大きい。住民に使ってもらえる魅力ある事業に見直してはどうか。

執行部・補助金額は少ないが、多くの人に配分する計画だった

以前と比べ、補助率・上限額を減額したため、魅力がなかったのが要因と考える。

以前の助成内容

上限 20万円 補助率：1/2
上限 40万円 補助率：1/2

中学生以下の家族がいる世帯及び、3世代以上同居の世帯



自然栽培新規就農者 育成支援事業補助金 120万円 減額

自然栽培をする人に対して支援する

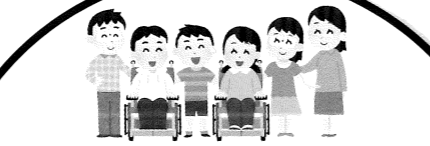
議員・新規就農者がいなかったのか

執行部・新規はいなかった

当初、自然栽培を希望する方が2名あり、予算要求していたが、本業との絡みで就農に至らなかった。

補助内容

本業の傍ら、自然栽培に取り組む人を3年間支援する
1年目 50000円/月
2年目 35000円/月
3年目 20000円/月



みんなで取り組む 中山間地域計画づくり 支援事業補助金 300万円 減額

持続可能な地域の活性化を図るための小さな拠点の立ち上げに取り組む集落・団体を支援

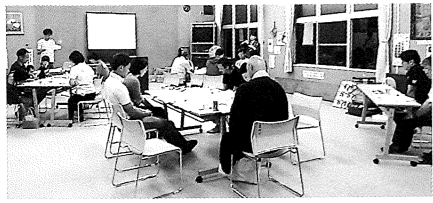
議員・予算未執行の要因は

支援の上限が150万円で、集落・団体の持ち出しはなく、100%補助金が出る。事業としては魅力があるが、なぜ未執行なのか。

執行部

活用した団体が1団体しかなかったため

1拠点1回限りという条件のため、慎重に検討されているのだと思う。



住民と共に計画を作りあげている様子



小・中学校情報通信 ネットワーク整備委託料 4,500万円

(内 2,056万円は国庫補助金)
小・中学校の校内において、デジタル教材等の活用ができるよう、通信環境を整備する

議員

『5G』に対応しているか
ファイブジー通信速度が早い『5G』に対応しているか。

執行部

対応していない
『5G』は、今回の国庫補助対象にならないため。

条例改正 他

主な議案

● **温水プールの利用料金を改正**
内容：プール一般利用料金が50円増額の550円に。また、トレーニングルームも利用料金を増額するなど、価格を変更した。

消防団員の報酬を増額改正

内容：平成16年度以降、改定がなかった報酬を、階級にかかわらず一律年額2000円増額とする。

旧3校(山形・山郷・那岐小学校)の施設を指定管理に

内容：旧小学校の更なる活用に伴い、地域振興の発展を推進するため、地域活性化を担う各協議会を指定管理者として指定する。

石谷家住宅の観覧料金を改正

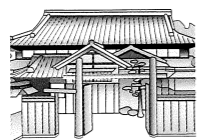
内容：観覧料金を一律100円増額し、600円と改定する。

人事案件

● **智頭町教育委員会教育長の任命に同意**
令和2年3月31日で任期満了となる長石彰祐氏を引き続き任命することに同意した。

議員辞職

● **高橋達也議員の辞職に同意**
高橋達也議員から『一身上の都合』により辞職届けが提出され、本会議で許可した。



一般質問

問 因幡街道ふるさと振興財団は、原点に返り検討する会を早急に持ちたいと答弁されてから1年経過した。会を持ち、どのような改善変化があったのか。

答 町長 外国語のパンフレット作成、フリーワイファイ整備、ホームページの



根本的な運営の見直しが求められる石谷家住宅

答 町長 一般正味財産は昨年度は微増、本年度はほぼ±ゼロ。観光協会、ふるさと財団の職員ときっちり整理してから去りたい。

問 将来の負担が増える中、観光協会への補助は継続していくのか。根拠と現状は。

答 町長 人件費、観光事業費、観光宣伝費、登山道整備委託料と根拠に基づいているが、各事業の精査を行い、安定した収益事業による運営を旨とする。そのため改革も必要。



河村 仁志

観光施策

町長 / 人件費・観光事業費など根拠はある

問 リニューアルを行い、閲覧の多い地区への集中的、効果的なPRを行っている。

答 費用対効果のない行事や不採算部門の打ち切りで、マイナス収支が食い止められるのでは。また、観光協会とふるさと財団をひとつの組織にしてはどうか。

問 遊休農地の拡大への対応策や担い手への支援などスマート農業と人・農地プ



石谷林業市場への木材出荷

答 町長 町の財政は決して余裕がある状況ではないが、来年度当初予算において町の補助金は据え置き、1200円で計上し、県内の自治体では最も高い水準を維持している。今後、補助金のあり方や、財源確保について検討し、本町における林業・木材産業の活性化に努めていきたいと考える。



安道 泰治

森林環境議与税

町長 / 財源確保について検討する

問 現在、材積立米当たり1200円の智頭材出荷促進事業補助金について森林環境議与税で補填する考えはないか。

答 町長 スマート農業の取り組みは、JAや関係機関と連携し、実証試験などを行い、検討を進める。これに必要な経費を当初予算に計上している。人・農地プランについては、集落単位での話し合いを進め、集落単位での策定につなげていく。

陳情の審査結果

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
厚生労働省による公立・公的病院名の公表の白紙撤回と地域医療の充実を求める意見書の提出	鳥取県医療労働組合連合会 執行委員長 池原裕子 他1団体	採択
町道極楽寺線の舗装修繕	五月田部落 役元 三輪芳詳	採択

令和2年3月に智頭町議会は、内閣総理大臣安倍晋三氏と厚生労働大臣加藤勝信氏に意見書を提出しました。

陳情箇所は、所管の委員が現地を見て、陳情者から説明を聞き、判断しています。



陳情 受付

陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。
TEL: 75-3115 gikai@town.chizu.tottori.jp

次回の定例会は7月7日から開催する予定です



次ページ

町政の課題を執行部に問う 6人の議員が一般質問に臨みました

一般質問とは、議員が町政全般について、疑問に思うことを、町長や教育長などに問い質すことです。

議員名	質問内容	議員名	質問内容
河村 仁志	観光施策について 1) 観光協会と石谷家住宅の補助金支出の根拠と現状 2) 因幡街道ふるさと振興財団の改善点 3) 石谷家住宅の収支決算 4) 観光施策事業を多面的に	酒本 敏興	商店街の振興対策 1) 商店街等振興整備対策事業として、積極的な行政支援ができていないか 2) 関係者との協議や検証等、民間事業に対する支援措置は十分か
安道 泰治	農林業振興について 1) 智頭材出荷促進事業補助金を森林環境議与税で補填できないか 2) 伐り捨て間伐の処理方法 3) スマート農業の取り組みと、人・農地プランの推進	岸本 眞一郎	人口減少下のまちづくりについて 1) 組織、団体等の人材育成、確保の現状と今後の見通し 2) 関係人口の拡大と活用策の必要性 3) ふるさと納税を活用し、関係人口増を
谷口 雅人	防災委員の設置について 1) 智頭町わが町支え愛活動支援事業の完全実施の方策 智頭宿魅力向上、和服の観光推進 1) 滞在時間の長時間化・満足度の向上・再来者の増加による活性化 2) 体験型観光による発信力向上と、関連施設の活性化	中野 ゆかり	病院経営について 1) 外来患者数の動向と現状 2) かかりつけ医制度の周知徹底を
			寺谷町政の成果と課題 1) 寺谷町政を振り返り、評価と成果を 2) 進捗状況と方向性 ・育みの郷構想の行方 ・旧町民体育館の施設利用の方向性 ・石谷家住宅を核とした観光の推進 3) 次期町政に引き継いでもらいたいこと

一般質問の録画をインターネットで見ることができます

智頭町議会 録画放送

検索



谷口 雅人

防災委員

わが町支え愛事業に有効では
町長／支え合って守っていただく

問 各集落に防災委員を設置することにより、智頭町わが町支え愛事業の完全実施に有効ではないかと考える。行政と集落、町内会の連携を密にし、正確な状況の把握により、的確な判断による対応が可能となる。



答 町長 集落をみんなで支え合って守っていただくということである。

問 町長 行政として各集落に委員を配置あるいは任命する形ではなく、住民一人一人に防災意識を高めるための啓発を働きかけていく。

問 委員を設置することや、支え愛事業が目的でもない、「誰一人取り残すことのない」一人一人に寄り添う、その手段の一つとしての提案だ。



ハイカラ市のーコマ

その他、和服の観光推進についても質問した。

問 この町に病院があることとの安心感にどれほどつながっているか、ともすれば

答 病院事業管理者 平成26年度は5万412人1日当り208人で本年度は3月末で3万9千人程度、1日当たり162人の見込みだ。



保健・医療・福祉総合センター(ほのぼの)

問 町民の医療への安心拠点である智頭病院経営を、安定させることは急務だと考える。

答 病院事業管理者 かかりつけ医はなんでも相談でき、必要な時には専門の医療機関を紹介する身近な頼りになる医師だ。ぜひ利用を。



岸本 眞一郎

病院経営

かかりつけ医の周知は
町長／病院がある安心感を

忘れられる時がある。

問 少子化が進む中、多様化する妊娠、出産、子育て環境に対応するため、本町の豊かな自然の中で、体制づくりが可能となるよう取り組んできた。育みの郷構想の柱である『いのちね』による事業では、最終的な産科医院の設置には至っていない。しかし、私が町長を辞めてからも、死ぬまでの仕事にしていくという強い決心を持っている。



『いのちね』の拠点整備の現状 (令和2年3月撮影)

答 町長 少子化が進む中、多様化する妊娠、出産、子育て環境に対応するため、本町の豊かな自然の中で、体制づくりが可能となるよう取り組んできた。育みの郷構想の柱である『いのちね』による事業では、最終的な産科医院の設置には至っていない。しかし、私が町長を辞めてからも、死ぬまでの仕事にしていくという強い決心を持っている。

問 町内において、産前産後ケアを必要とする人が少ないことが予想される。事業の将来見通しを問う。

答 町長 智頭町以外からも来ていただくことも視野に入れていく。『いのちね』の講演会が大阪や京都で行われると、かなりの人が来られる。本町が日本の聖地になればと思進めている。



酒本 敏興

商工振興

商店街の振興対策は
町長／助成制度は県内唯一

問 町民主体の自治確立に力を注ぐ智頭町の事例は、全国で紹介されている。新しい視線で町政を、次の世代にどう繋ぐのか、どう託すのか。駅前商店街の積極的な行政支援が必要と考えるが如何か。

答 町長 新図書館建設を契機に、商店街や宿場町までのエリアを「ちづみち」と名付け、ワーキンググループを中心に町中再生を進めている。空き店舗の活用や商工会が主体となる「まちゼミ」は、じわじわと商工振興に寄与している。

問 町長 新規創業・開業や店舗改修支援27件の実績がある。資金調達時に発生する信用保証料の助成制度は県内唯一の創設を誇っている。

問 第2期地方創生へ。行政主導ではなく、住民と連携する様々な形を検討すべきではないか。ハード・ソフト両面の具体的な活性化策が伝わらないがどうか。



活用が待たれる改修中の空き店舗

最終報告

報酬・定数に関する意見集約結果を報告。議会の活性化・効率化に関する案件は、議会運営委員会に引き継ぎ、調査・研究を行います。

平成29年の智頭町議会議員一般選挙において無投票となったことを踏まえ、平成30年12月に当委員会を立ち上げ、調査・研究を行ってきました。この度、最終報告を取りまとめました。特別職の報酬等に関する審議会の答申内容を中心にお知らせします。(中間報告は、議会だより149号に掲載)

委員会の開催

委員会(小委員会含む) 計39回開催

報酬等に関する審議会の答申結果

議員報酬(報酬月額)

議長：35万円

議員：28万円

議員定数

現状維持：12人

来期改選の議員から適用予定

【答申を受けた後の議員の意見】

1 審議会答申を尊重：9人(安道・河村・高橋・大藤・岩本・谷口・酒本・中野・大河原)

【主な理由】 議会内で報酬は増額と据え置きが拮抗。定数は2人削減と現状維持が拮抗していたが、第三者による公平な判断を期するために、審議会が設置され、その審議結果である答申を尊重すべき。



2 報酬は現状維持：1人(岸本)

【主な理由】 報酬の増額が立候補しやすい方策に結びつくことは疑問だ。

3 定数は2減：1人(國本)

【主な理由】 報酬を増額するのであれば、定数減としなければ、町民の理解を得られない。

答申の結論

審議会では、議員という仕事量の増加に対しての報酬額を導くため、消費者物価及び賃金の上昇、自治体職員の給与及び、今後の智頭町議会の議員像として想定する、働き盛りの若い方が生活することができるといったこと等、総合的に勘案し、結論を導いた。

審議会の意見

・活発な議会運営のためには、定数を減らすべきではない。

★町民に対し、議員の活動が具体的にイメージできる環境が作られ、ひいては立候補者の増加につながることを望む。★本会議における一般質問を積極的に行使することで、さらなる議会の活性化を期待する。

★今後、議員各位においては、より一層町の発展と住民福祉の向上に尽力し、議会基本条例に基づき、町民の代表機関としての責任を果たし、町民に信頼され、存在感のある議会となるために積極的な活動をされることを期待する。

様々な事柄を見直し、発展的な議会運営に努めています

★傍聴席への飲料水の持ち込み

【議論の背景】

傍聴者からの要望

【改善】

傍聴席への飲料水持ち込みについては、従前どおり禁止しますが、議会事務局前で飲料水を無料で提供することで対応します。



★タブレットの導入

【調査・研究の経過】

導入議会の多くが、費用対効果に対し結果が出ていません。今後、通信環境が大きく変化することが見込まれるため、継続して調査します。

★議会報告会のあり方

【議論の背景】

平成23年3月から、町民に対する説明責任を果たす目的で実施しています。しかし、マンネリ化と一部町民との不調もあり見直しが必要。

【改善】

報告部分を減らし、共通テーマを設けて懇談会的に行い、政策提言へと繋げていきます。



昨年行った議会報告会土師地区の様子



議員1人分の年間資料の一例



電子化 タブレット

議会だより150号を機に紙面の改善にチャレンジ

議会広報モニターの皆さんからご意見を伺い、紙面を見直しました。

★表紙写真

【モニターの意見】

16人中7人が『想い出シリーズ』の継続に賛成(一番多い意見)でした。「表紙の今昔の写真を見て、次の町の姿について話はずめばいいですね」というご意見もありました。

【改善点】

昭和時代の写真を中心に掲載してきましたが、今後は少し昔(平成時代)も視野に、中面に掲載した内容と関連した写真を『想い出シリーズ』として掲載していきます。

★委員会活動のページを充実

【改善点】

一般質問を1ページから半ページに縮小し、その分、委員会活動の紹介を充実することにしました。

1月30日
31日

災害時の 議会・議員の あり方を考える

■視察地

神戸市長田区・中央区、兵庫県芦屋市
■ふたば学舎・被災地のまち歩き(長田区)
商店街の地元店主から話を聴き、復興には、将来の主体となる30代の若者の声を聴くことが必要で、本当の復興は行政主導ではなく、地域住民と一緒に考えていくことであると再認識しました。



■芦屋市議会の取り組み
災害発生時の議会・議員の対応について調査研究するため、訪問しました。芦屋市議会では、災害時における市と議会の間での情報の混雑・錯綜防止を目的として、災害対応マニュアルが策定されています。
災害時に議会が有効に機能するために、本町でも災害対応マニュアルを策定する必要があると改めて感じました。
また、災害に備え、議会として準備しておく備品などについても検討していく課題だと認識しました。



1月28日

新田サドベリースクールの 運営に関する意見の聞き取り

運営者からの要望を受け、意見の聞き取りを行い、フリースクールの認定取得に向かうべきという議会の考えを伝えました。

1月14日

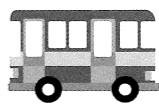
2月17日

例月委員会

所管各課から事業の進捗状況などについて報告を受けました。また、2月の委員会では、3月定例会を前に、当初予算の方針などについて説明を受けました。

■主な質疑

地域公共交通計画、新図書館建設おせっかい奨学パッケージなど。



■人と防災未来センター(中央区)

阪神・淡路大震災で倒壊した建物の下敷きになり、自力で脱出できなくなった人は約3万5千人、その内の77%の人は消防署や行政関係者ではなく、近隣住民によって救助されたということです。
本町では、防災福祉マップづくりを進めています。住民同士の絆を再構築することで、災害という脅威にも対抗できるのではないかと感じました。

1月14日

新田サドベリースクールについて 教育委員会と意見交換

現状や教育委員会としての対応などについて説明を受け、認可フリースクールとしての運営に変えるよう要請すべきと申し入れました。



3月13日

定例会中の委員会

議案の所管部分の質疑のほか、所管各課から事業の進捗状況などについて報告を受けました。

その他、新型コロナウイルス関連の質疑がありました。(14ページに掲載)

2月12日

若手林業家との 意見交換会

■課題

伐採木搬出のための作業道整備、架線搬出のオペレーターの育成・搬出機の機械保守、自伐型林業の初期投資、担い手育成の教育時間確保など。

■まとめ

若手林業家に共通していたのは、『山守』という言葉が物語るように、山を愛し、木を愛する気持ちが根底にあるように思えたことでした。

今回の意見交換会で、地元住民も関心を寄せられるような林業施策の構築と、そのヒントを得ることができました。引き続き、調査・研究を進めます。

2月27日

架線集材の現地見学

2月12日の意見交換会で、架線集材の技術取得者、関係する機械の整備者が町内にわずかしかない現状と、後継者の育成に関する課題などを聴き、理解を深めるため現地見学を行いました。急峻な地形での作業には、架線集材が有効であることを再認識しました。



1月14日

例月委員会

所管各課から事業の進捗状況などについて報告を受けました。

■主な質疑

Q 森林環境譲与税の活用は

A 森林管理システムを動かす予算、担い手の育成、新図書館の建築資材(主に天井)費

Q 病院給食の次年度の方向性は

A 人件費、委託料の高騰が大きな課題。見直し更新するよう進めている。

Q 将来の山づくりとは逆の荒っぽい作業をしているような声が届くが

A 智頭町の林業を荒らすということとはあってはならない。次に何かあれば、山主にも伝える。

Q タクシー助成の利用実績は

A 登録者(550人)のうち、未利用86人、10%未満87人、100%9人、90%台24人。

その他、新林業ビジョンについての説明を受け、意見交換を行いました。

2月12日

例月委員会

所管各課から事業の進捗状況報告のほか、3月定例会を前に、当初予算の方針などについて説明を受けました。

■主な質疑

Q 今後、集落の高齢化に伴う除雪の要望が増えることが懸念される。

A 基本的には集落での対応をお願いしますが、町の対応も検討する必要があります。

Q 智頭材の販売促進は

A 今までの事業の成果が出始めている。公共施設・民間も含め知名度は上がってきている。

3月12日

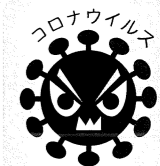
定例会中の委員会

議案の所管部分の質疑のほか、所管各課から事業の進捗状況などについて報告を受けました。

■質疑

地籍調査の進捗、社会福祉協議会バスなど

その他、新型コロナウイルス関連の質疑がありました。(14ページに掲載)



新型コロナウイルス感染症に関する議会の質疑

※このページの内容は、委員会等開催日現在の情報です。対応等は、現状と異なる場合があります。

2月28日 全員協議会

町の対策について説明を受けました。

主な内容

総務課長▼2月25日に国の対策基本方針が出た。職員に、人混みを避けること、懇親会の自粛などを指示した。

教育長▼臨時の校長・園長会を開き、3月2日から24日まで小中学校を臨時休校とする方針を決定した。中学校の部活動も全面中止、すぼネットの活動も中止要請を行う。

議員▼小中学生は、約1ヶ月の自宅待機となる。保護者の相談体制を整えてもらいたい。

教育長▼保護者の不安は当然。こまめに情報を出していく。

議員▼地域によっては、公民館行事で子どもたちが集まることがある。行事の自粛要請についての方針は。

3月12日 民生常任委員会

教育課長▼すぼネットの活動同様、公民館行事も中止の要請を行う。

主な質疑

議員▼智頭病院の対応は。



事務部長▼WHOがパンデミック宣言を行った。まん延期の対応については日々協議しているが、協議中のもので、対応決定済みのものも様々。マスク・消毒液の備蓄は当面心配ない。

議員▼隔離が必要となった場合、智頭病院E棟が該当すると想定するが、使用できる状況か。

事務部長▼新型インフルエンザ流行時にはE棟を指定したが、今回は、一般病棟5階の1部屋を登録している。大型病院が受け入れられない緊急時の受け入れになる。

智頭町の取り組みを全国から視察 智頭の事業に注目!

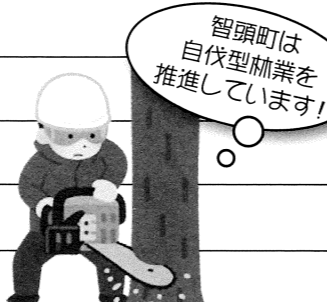
智頭町が取り組んでいる事業を、多くの議会が視察に来てくださいました。

令和元年は、北は秋田県、南は宮崎県まで11団体の視察を受け入れました。議会が対応した視察は下記のとおりです。



【令和元年の議会対応 視察受け入れ一覧】

	日にち	議会名	視察内容
1	2月15日	中部議長会	民泊推進、森林セラピーの現状と推進施策
2	5月16日	福井県川俣町議会	智頭町の子育て支援、教育振興策
3	6月28日	秋田県横手市議会	疎開保険、百人委員会
4	7月	3日 岡山県笠岡市議会	森のようちえん、木の宿場プロジェクト
5		11日 兵庫県豊岡市議会	移住定住施策、地域活性化の取り組み
6	17日	広島県神石高原町議会	百人委員会
7	8月 9日	南部町議会	子どもの貧困対策
8	10月18日	福井県池田町議会	木の宿場プロジェクト
9	11月	6日 高知県四万十町議会	図書館の取り組み
10		19日 高知県黒潮町議会	自伐型林業の推進
11	12月17日	宮崎県木城町議会	百人委員会、疎開保険、移住促進対策、森のようちえん



自治功労表彰

町議会議員として27年以上在職し、功労のあった者として、**酒本敏興**議員が全国町村議会議長会長から表彰され、同じく15年以上在職し、功労のあった者として、**岸本眞一郎**議員と**谷口雅人**議員が表彰されました。



功労表彰された谷口雅人議員(左)・酒本敏興議員(中央)・岸本眞一郎議員(右)

3月13日 総務常任委員会

議員▼現時点の町の対応は。

手をあらおう



総務課長▼国の方針が出て、本町でも対策会議を開催している。町民が困らないように情報収集を行い、正確な情報を伝えるなど、的確な対応ができるよう準備しておく。

議員▼町内企業には、町内の方が多く勤めている。事業停止とならないように、情報収集に努めて、支援できる体制を。

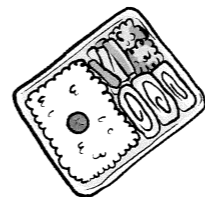
企画課長▼商工会とも連携を密にして進めていく。

3月16日 全員協議会

主な質疑

議員▼小中学校の出校日に、給食の提供はあるのか。

教育課長▼弁当の持参をお願いする。



「教育は人なり」

～ 38年間の教員生活を終えて～

ふじわら のりこ
藤原 紀子さん

(山郷地区・第15代智頭中学校長)



38年間の教員生活を終え、令和元年度3月末で退職しました。

教員生活最後の7年間で、母校に勤務し、智頭町の教育に携わらせていただくことができましたことに、深く感謝申し上げます。

長きにわたる教員生活の間には、学級経営や生徒指導で苦勞もあり、ただ我武者羅に仕事をしていたというのが正直なところですが、

今の私を形作った(未だ未熟ですが)のは、やはり人との出会いであったと思います。多くの人に教えを請い、励まされ、試行錯誤して、教科指導や学級づくりの方法を身に付けました。「教育は人なり」という言葉がありますが、教育の目的は、「人を育てる」ことに尽き、将来「良い社会人」や「良い家庭人」となり、「心豊かに幸せな人生を送ることができる人」を育てること



とにあると思います。「幸せな人生」とは、人それぞれに捉え方・表現の仕方は違うと思いますが、少なくとも「自分の良さを見失わず、生涯をかけて自分を磨き、互いに助け合って生きることを良しとする人」であると思います。農作物が、肥えた土壌にしっかりと根を張れば、自ずと良い作物に育つように、人の「もと」になる部分を、しっかりと育ててやること

が肝心です。思うに人の「もと」は、家庭で作られる、愛情一杯に育てることがその「もと」を作るのだと思います。

学校教育は知(知性)を育てます。そして、知(知性)は徳(徳性)を高めるためのものです。知性をもって、生涯をかけて人間性を磨くことが、人が生きる目的であると考えます。

恵まれた教育設備を備えた木造新校舎での生活は、智頭中の生徒たちに落ち着きと感謝の心、学ぶ意欲そして智頭で生まれ育つことへの誇りを育てています。「賑やかな過疎の町」を実現された智頭町の町づくり、最高の教育環境のもとで、教育の側面から関わらせていただくことができたことを、心から嬉しく思います。今後の智頭町政の益々のご発展を祈念いたします。

編集後記

今年の冬は、雪が少なく暖かい気候でしたが、2月中旬から新型コロナウイルスによる感染が多発し、イベントの中止が続き、町内でも小学校の卒業式は、卒業生と保護者のみの出席で行われ、残念でした。

波乱に満ちた新年度を迎え、私たち議員一同、今後の町政の発展に力を入れて、頑張っていきたいと思えます。

150号が発行され皆様の手元に届くころには、落ち着いていることを願っています。(岩本)

編集 議会広報常任委員会

委員長 安道 泰治

副委員長 國本 誠一

委員 岩本富美男

委員 谷口 雅人

委員 中野ゆかり

発行責任者 議長 大河原昭洋